

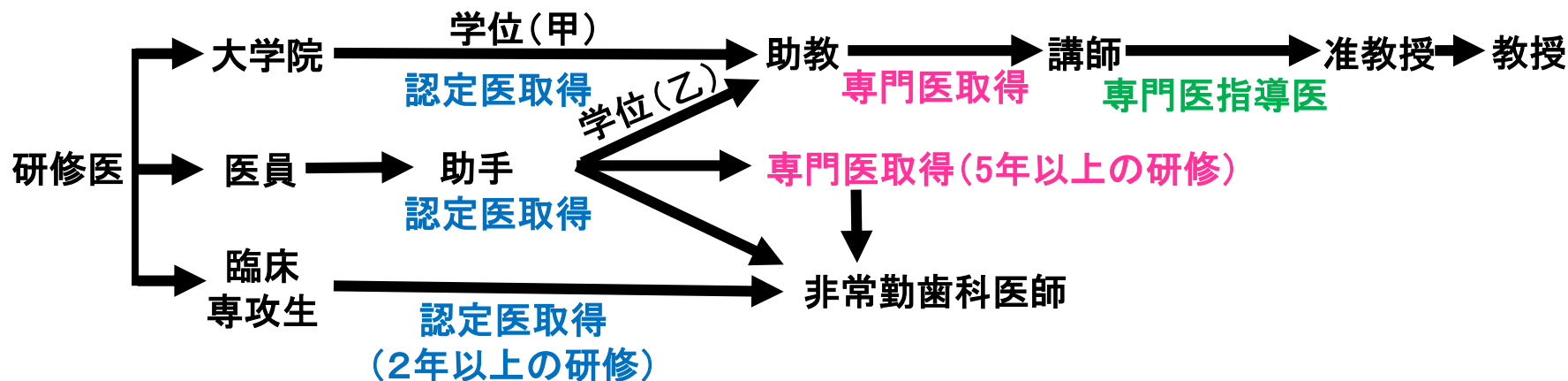
# 小児歯科

当小児歯科では、地域歯科医院から求められる小児歯科専門の人材を育成するとともに、小児歯科、矯正歯科、障害歯科の幅広い知識を  
持った歯科医師の養成を目指しています。

特に、乳歯列期や混合歯列期における積極的な咬合誘導を行っている点が大きな特徴です。また、小児の外科処置や全身疾患を有する患児への対応、全身麻酔下での治療も実施しています。口腔筋機能療法については、歯科衛生士と協力しています。

入局後、新人セミナーは4月から集中的に行われるため、心配する必要はありません。毎月の症例検討会や抄読会などを通して、医局全体で研鑽を積んでいます。また、認定医や専門医取得に向けたサポート体制も充実しています。





入局1年目は、大学院生・医員ともに、小児の基本的な歯科治療の習得を行います。担当患者の口腔全体に対する治療計画を立案し、年度末にはケースレポートとして報告します。2年目以降は、全身疾患のある小児患者への治療や、全身麻酔下での治療、咬合誘導処置などを実施します。大学院生は研究が中心となりますが、引き続き外来診療も担当します。

大学院生・医員ともに学会での発表を行い、認定医は3年目から、専門医は5年目から申請が可能です。(認定医制度は長らく中止しておりましたが、令和5年より申請が再開しました。)



**小児歯科の認定医・専門医を取得することで、  
自分の歯科医師人生において  
最大の強みを持ちましょう！**